

令和7年11月28日

三次市長 福岡誠志様

三次市行財政改革推進審議委員会
会長 澤俊晴

第5次三次市行財政改革推進計画の取組について（提言）

このことについて、令和7年11月5日に開催した三次市行財政改革推進審議委員会の審議を踏まえ、次のとおり提言します。

この提言を今後の市政に生かしていただくようお願いします。

【提言】

- ・個別計画の策定に当たっては、まちづくりの総合的な指針である第3次三次市総合計画及び第5次三次市行財政改革推進計画との整合を図るとともに、実効性のある計画となるよう行財政改革の視点を意識しながら検討を行うこと。
- ・今後も人口減少が進むことを想定すれば、職員数の減少は避けられないものと考えるが、それにより住民サービスに影響が及ぶことのないよう、デジタル技術等を最大限に活用し、適正な事務執行に取り組むこと。
- ・業務のデジタル化に継続的に取り組むとともに、市民がデジタル化の恩恵を十分に享受できるよう、デジタルデバイドの解消及び情報発信に取り組むこと。
- ・小中学校の再配置等により、今後、公共施設の遊休化が増加すると想定されることから、その有効な活用方法について引き続き、検討を進めること。
- ・第5次三次市行財政改革推進計画に定めた目標値の把握に限らず、その目標値の設定で取組の進捗状況を客観的に把握できるのかについても検討することで、各種取組をより実効性をもって推進すること。

人口減少や少子高齢化、物価高騰など、社会経済環境は非常に厳しい状況が続いており、持続可能な行財政運営の実現が不可欠です。

三次市長におかれては、まちづくりの基本理念である「市民のしあわせの実現」に向けて、引き続き、行財政改革の推進に積極的に取り組んでいただくことを期待します。

【三次市行財政改革推進審議委員会】

会長	澤俊晴	副会長	中宗 久之	委員	八谷 尚幸
委員	久保田 博昭	委員	金矢 和代	委員	住本 惟光
委員	岡田 真以	委員	長崎 かおり	委員	青木 麻由美
委員	喜友名 隆之				